

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-136926

(43) 公開日 平成4年(1992)12月21日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 0 K 17/22		Z 8710-3D		
17/34		A 8710-3D		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平3-44830

(22) 出願日 平成3年(1991)6月14日

(71) 出願人 000001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

(72) 考案者 浜 昌明

大阪府堺市石津北町64番地 株式会社クボタ  
夕塚製造所内

(72) 考案者 利国 信行

大阪府堺市石津北町64番地 株式会社クボタ  
夕塚製造所内

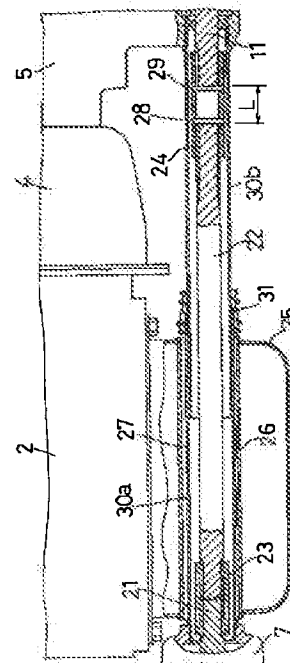
(74) 代理人 弁理士 北村 修

(54) 【考案の名称】 トラクタの前輪伝動構造

(57) 【要約】

【目的】 エンジン下部のオイルパンを前後に貫通する前輪駆動用の伝動軸の組立て・分解を容易に行えるようにする。

【構成】 オイルパン25の軸挿通孔27に通した伝動軸22と前車軸ケース7の入力軸21とを略接当状態に突合わせて第1カップリングスリーブ23でスプライン連結し、伝動軸22とミッションケース5の前輪駆動軸11とを大きい間隔をあけて対向した状態で第2カップリングスリーブ24でスプライン連結し、この第2カップリングスリーブ24に打込んだピン28、29で伝動軸22の前後動を止め、ピン28、29の抜取りで伝動軸22の後方移動を許す。



1

2

## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ミッションケース（5）から前方に突出した前輪駆動軸（11）と、車体前部の前車軸ケース（7）から後方に突出した入力軸（21）とを、前車軸ケース後方に設けられたエンジン（2）のオイルパン（25）を貫通する伝動軸（22）で連動連結してあるトラクタの前輪伝動構造において、前記オイルパン（25）に前後に貫通する軸挿通孔（27）を構成し、前記入力軸（21）と伝動軸（22）とを前記軸挿通孔（27）の内部において略接当状態に合わせて第1カップリングスリーブ（23）でスプライン連結すると共に、前記伝動軸（22）と前輪駆動軸（11）とをオイルパン（25）の後方位置において大きい間隔（L）をあけて突合わせて第2カップリングスリーブ（24）でスプライン連結し、この第2カップリング（24）には、該スリーブ（24）の前後動を阻止すると共に伝動軸（22）が後方に移動するのを阻止するピン（28）、（29）を挿抜可能に装着し、かつ、このピン抜き状態では第2カップリングスリーブ（24）の前方あるいは後方への移動が許され、この伝動軸（22）の後方移動によって第1カップリングスリーブ（23）での軸連結が

解除されるように、組付け状態における伝動軸（22）と前輪駆動軸（11）との前記突合わせ間隔（L）を設定してあるトラクタの前輪伝動構造。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 要部の一部切欠き側面図

【図2】 要部の縦断正面図

【図3】 トラクタの全体側面図

【図4】 前部ミッションケースの縦断側面図

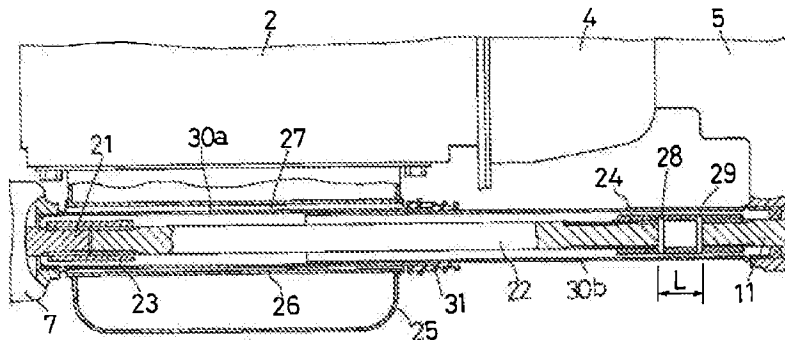
【図5】 従来の前輪伝動構造を示す要部の一部切欠き側

面図

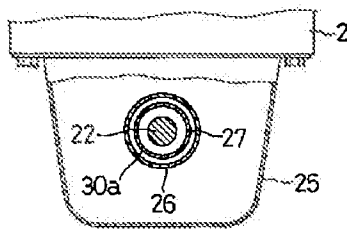
## 【符号の説明】

- 2 エンジン  
5 ミッションケース  
11 前輪駆動軸  
21 入力軸  
22 伝動軸  
23 第1カップリングスリーブ  
24 第2カップリングスリーブ  
25 オイルパン  
27 軸挿通孔  
20 27 軸挿通孔  
L 間隔

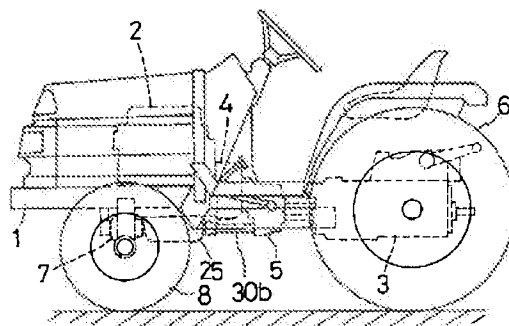
【図1】



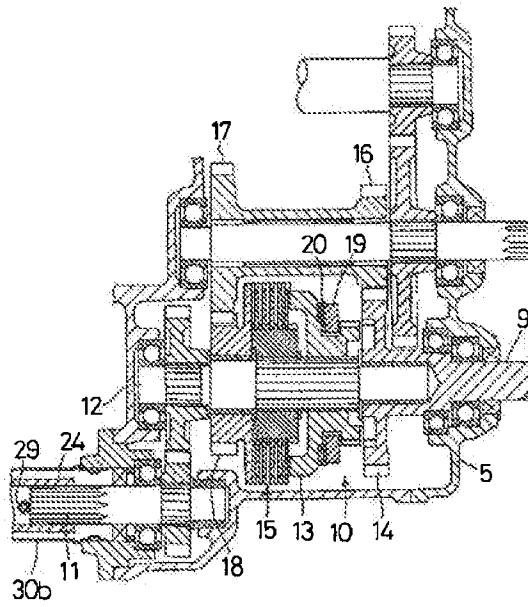
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

